

第34回「グループホームたなお」運営推進会議議事録

日 時：令和4年11月19日（土）14：00～15：00

場 所：グループホームたなお

出席者：高齢介護課職員1名、小池議員、GH管理者

1. 前回会議（9月17日分）からの運営状況について

1) 入退居について（11/18日現在）

- ・入退居者 : 新規入居者0名 退去者0名
- ・待機状況 : 待機者10名（男性5名、女性5名）
※前回会議新規申し込み1件 他施設入居によるキャンセル1件
- ・入居者数 : 18名 夢の華 : 9名（男性1名・女性8名）
希望の華 : 9名（男性1名・女性8名）
70代…1名 80代…7名 90代…9名 100歳以上…1名
平均年齢 : 90.5歳（79歳～102歳）
平均入居日数 : 1,393.6日（132日～2,054日）
介護度 : I…7名 II…3名 III…5名 IV…1名 平均介護度 : 2.0
※2名介護認定更新中で結果待ち
- ・月間稼働率 : 9月…100% 10月100%

2) 職員の異動について

- ・入職者 : 11月夢ユニットに非常勤職員1名入職
- ・退職者 : 11月末希望ユニット非常勤職員1名退職予定
- ・休職者 : 1名希望ユニット非常勤職員、1名夢ユニット正規職員産休
- ・ユニット間の職員移動無し

3) 事故・急変・医療連携等について

☆9～10月分の事故・ヒヤリハット集計

- ・ヒヤリハット : 転倒3件、誤飲・異食2件、離設2件、

計7件（前回比±0件）

※誤飲・異食は化粧水を飲もうとした、歯磨き粉を食べようとした

※離設はGPSの渡し忘れ、タイマーのセットし忘れ

- ・事故発生状況 : 転倒4件、転落2件、服薬ミス1件、切傷打撲2件、離設1件

利用者間のトラブル2件

計13件（前回比+1件）

※転倒は4件の内2件は同一の方で普段から一人で歩かれている方

※薬のミスは落薬

※切傷打撲は移乗介助時にベッド柵で手を擦って剥離、椅子とテーブルで指を挟む

※利用者間のトラブルは2件とも同一の方で、洗濯物干し中に口論となりハンガーで叩く
居室を間違えて入って行ってしまい、注意されたことに対し相手を押して転倒させる

※急変・医療連携等

- ・救急搬送（救外受診）：0名 入院者：0名
- ・新型コロナウイルス感染：0名
- ・看護師コール対応：1回 ※熱発者及び当該ユニット入居者に対するPCR検査実施
- ・盛田歯科訪問診療：2名

4) 身体拘束・虐待防止について

- ・身体拘束防止のガイドラインに設定されている事項については該当なし
- ・10月から不適切ケアのチェックリストも実施し現在集計中

5) イベント関係について（9月17日～11月18日分）

- ・イベント：誕生日会、お彼岸のおはぎ作り、ハロウィン食
- ・来訪イベント：わんとほーむ（動物介在）
- ・個別外出：車でのドライブ、散歩など

※11月29日にホーム内にて「たなお秋祭り」予定

6) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策及び陽性者発生の経緯

☆感染予防対策

- ・ホーム内での職員マスク着用、手指消毒の徹底、定期的な換気、次亜塩素酸水噴霧
- ・面会に関して現在制限はない（感染状況によって変更有）
- ・LINEによるオンライン面会体制あり
- ・買い物への同行に関しては中止し、理容に関しては訪問理容を利用している。
- ・個別外出は密にならない屋外の場所のみ。
- ・全職員県のPCR検査を実施9月3回、10月2回、11月は1回予定

☆職員の新型コロナウイルス感染

- ・9月希望ユニット職員1名、職員の家族1名（職員自身は感染なし）

☆4回目ワクチン接種について

希望ユニット入居者は9月中に全員接種済み（5回目は検討中）

夢ユニット入居者は12月初旬に4回目接種予定（医師より4回目で終了指示あり）

職員の4回目、5回目接種については個々にて実施中

☆11月末にインフルエンザ予防接種予定（2名さかべ医院の入居者接種済み）

7) 研修参加状況

研修参加（9月～10月オンライン研修）

- ・9月 認知症の“人の気持ち”：全職員受講
- ・9月 医療に関する研修：全職員受講
- ・10月 感染対策の基本と食中毒予防：全職員受講
- ・相談員から始まる職場改善：1名

集合研修参加9月17日～11月18日

- ・ACP人材育成 ステップアップ研修 初級編：3名
- ・ACPに関する救急隊の取り組みに関する説明会：2名

- ・介護のための薬の知識 : 1名
- ・地域包括ケアのあり方 : 1名
- ・福祉職員キャリアパス生涯研修課程 チームリーダー課程 : 1名受講
- ・福祉職員キャリアパス小芸研修過程 中堅職員課程 : 2名受講

講師派遣

- ・認知症介護実践者研修 講師
- ・地域密着型サービス事業管理者研修 講師
- ・日本福祉大学ゲスト講師
- ・碧南市認知症本人・家族交流会 家族向け認知症介護のポイントをミニ講義
- ・愛知県介護労働センター 介護人材コンサルタント派遣
- ・認知症サポーター養成講座 講師（ユニットリーダー）

実習受け入れ

- ・認知症介護指導者研修 オンラインによる実習 1名受け入れ
- ・日本福祉大学 1年生介護実習 1名受け入れ

8) 地域・行政との連携

- ・碧南市認知症初期集中支援チーム・チーム員会議出席
- ・碧南市オレンジサポーター交流会出席・協力
- ・碧南市サービス機関連絡協議会役員会出席
- ・棚尾地区自主防災を考える会出席
- ・たなお村祭り運営協力

9) 認知症伴走型支援事業について

- ・10月3件
（高齢介護総合相談からの紹介、初期集中支援チームとの連携、直接の電話相談）
- ・11月4件（11/18現在）
（高齢介護総合相談からの紹介、CMからの相談紹介、直接の電話相談2件（内1件県外））

10) 運営指導・外部評価の実施について

- ・11月24日に外部評価（聞き取り）を実施予定
※5年間の基準評価をクリアしている為、今年度は訪問による外部評価ではなく
オンラインによる聞き取りによる調査のみ
- ・R5年1月16日 運営指導（旧実地指導）

11) その他、意見交換

- ・介護度が少しずつ上がっていく事で職員の負担はどうか？
→介護度が上がるにつれ、移動や食事介助など介助量は増えている。入居者同士の助け合いもあり、工夫しながら対応している。コロナ禍の影響で様々な活動の制限があり身体機能の低下がある
- ・認知症伴走型支援事業は、市内全域の相談を受けていくのか？
→認知症伴走型支援事業は碧南市の委託を受け行っている為、市内全域からの相談を受け付けている。10月からスタートしたが県外からの相談も1件あった。ホームページにも伴走型支援事業の事が載っているので、市外からの相談もあり得る。
- ・運営推進会議へのご家族の参加は制度上必須となっているが、コロナ禍においてご家族の参加が極端に減ってきている。他のグループホームはどのような状況か？
→大体決まった方が参加している様子があるが、毎回数名は参加している。
→家族の中で代表者を決めて、代表者の方が参加している所もある
→他のGHなどの運営推進会議に家族参加をどうしているのか、またご意見を頂きたい。
当ホームも来年度は、毎回数名の代表者を決めて依頼していく事も検討していく。

次回：令和5年1月21日（土）14：00～